

## 「かわさきTEKTEK」の事業検証の結果をお知らせします 応援特典応募とポイント寄付は3月31日まで！

令和5年10月から開始いたしました、歩いて貯めたポイントで子ども達を応援するウォーキングアプリ「かわさきTEKTEK」について、事業開始から3年目を迎え、令和7年2月末には参加者が7.8万人を超えました。この度、事業検証を行いましたのでその結果をお知らせいたします。

また、3月から、ポイントを寄付して付与されるチケットで応募できる「応援特典」が始まりました(応募は3月31日まで)。なお、今年度分のポイントは3月31日で失効しますので、併せてお知らせいたします。

### 《検証のポイント》

- 1 子ども達(小・中学校等)を応援できる」という仕組みが多くの方の市民の賛同を集めた
- 2 TEKTEK が運動のきっかけになり、**実際に歩数も増えた**
- 3 アンケートでは、「川崎市や地域に対する関心度・好感度が上がった」、「TEKTEK をきっかけに会話頻度が増えた」と答えた層が一定程度おり、TEKTEK がソーシャルキャピタルの強化の一助になっていると考える

今後の方向性については、アンケートで、「TEKTEK を続けたいか」に対し96%の人が「続けたい」と回答していたことも受け、今後も「大人が歩いた成果を子ども達に還元する」スキームで続けていき、健康とやさしさが循環する社会の実現を目指します。

### 1 検証目的

事業開始から3年目を迎え、利用者アンケートや歩数データをもとに事業の検証を行う  
※アプリ参加者に対しアンケートを実施(4月実施時の回答者 8,843人、9月実施時の回答者 6,837人)。9月実施のアンケート回答者の中から歩数データを抽出(2,620人)。

### 2 検証内容・結果(概要)

#### (1)「子ども達(小・中学校)を応援できる」という仕組みが多くの方の市民の賛同を集めた

- (ア)令和7年12月末(検証時)には参加者が**7.6万人**を超えた
- (イ)**30代～50代の働き盛り世代**が参加者全体の約**7割**を占めている
- (ウ)TEKTEKに参加しようと思った理由の約**85%**が「子ども達の応援」  
※ (ウ)は4月実施時のアンケートの回答

#### (2)TEKTEK が運動のきっかけになり、実際に歩数も増えている

- (ア)TEKTEK が、運動習慣が十分に形成されていない層の運動のきっかけになっ  
た

アプリを始める前に「日頃から意識的に運動をあまりしていない・全くしていない」を選んだ人は**36.5%**いた。そのうち「こまめに歩くことを意識するようになった」、「歩数が増えた」、「運動の習慣化に繋がった」を選んだ人は**60.5%**いた。

これを TEKTEK 参加者 7.6 万人に換算すると、約 1.6 万人の運動習慣が十分に形成されていない層が、TEKTEK をきっかけに運動を始めている。

(イ)データを分析すると歩数が増えている

(ア)の層の歩数分析では、TEKTEK 開始前の歩数データが取得できた人のうち、開始前と開始 1 年後の同月の、1 日あたり平均歩数を比較した。アプリ参加前に比べ 576 歩増えており、実際に TEKTEK が運動促進につながったと考えられる。なお、対象者のうち、アンケートで「歩数が増えた」を選んだ回答者は平均 980 歩増えたが、それ以外の回答者も、平均 429 歩増えており、歩数が増えたと自覚していなくても歩数が増えていた。

(ウ)1 年間の外来医療費抑制効果は約 5.5 億円(推計)

### (3)TEKTEK が参加者のソーシャルキャピタルの強化の一助になっている

(ア)TEKTEK が地域とのつながりを感じるきっかけになっている

アンケートでは、「TEKTEK に参加した効果」(複数選択)という質問に対し、「川崎市や地域に対する関心度・好感度が上がった」(約 26%)、「社会貢献が実感できた」(約 22%)と回答するなど、TEKTEK が地域とのつながりを感じるきっかけになっていると考える。

(イ)TEKTEK が社会とのつながりづくりの醸成になっている

アンケートでは、一人暮らしの方は、「TEKTEK に関連して、周囲の人とあいさつや会話をする機会は増えた/少し増えた」と答えた割合が約 28%あった。

### (4)子ども達の笑顔・学校生活の充実につながった

学校では、応援金を様々な用途に使い、子ども達の学校生活を充実させている。

※学校の報告(使い道・結果報告)における SNS の活用…市 HP、SNS(X、Instagram)の TEKTEK アカウントで各学校の応援金の使途を掲載している

### (5)結論:現行スキームを維持して事業を継続する

アンケートでは、「TEKTEK を続けたいか」という質問に対し、約 96%の人が「続けたい」と回答している。今後も【大人が歩いた成果を子ども達に還元する】スキームで続けていき、健康とやさしさが循環する社会の実現を目指す。

※検証内容の詳細はホームページに掲載しています。

<https://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000164157.html>

## 3 応援特典の応募・ポイント寄付の期限について

3月1日から31日まで、市内在住・在勤・在学の TEKTEK 参加者は、寄付したポイントに応じて付与されるチケットで応援特典への応募ができます。この応援特典は、協賛企業等から全て無償で提供されているものです。

また、市立小学校・中学校(特別支援学校を含む)へのポイント寄付は3月31日までです。

※寄付の対象は、令和7年4月1日から市立中学校 52 校を追加し合計 170 校です。

※令和7年度の応募特典はアプリのほか、以下のホームページに掲載しています。

<https://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000154844.html>

(参考)かわさきTEKTEKのページ

<https://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/22-26-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

# かわさき TEKTEK の仕組み



問合せ先

川崎市健康福祉局保健医療政策部保健医療政策課 土元

電話 044-200-1218